

「第34回甲府大好きまつりでの推進活動」

山田千恵美

第34回甲府大好きまつりでは、参加した推進委員20名で「ジェンダーの視点からみた防災」と「DV・デートDV」についてのクイズをブース来場者に説明をしながら、解いてもらうことで男女共同参画への理解を深めてもらうことができました。クイズに回答した方には、ガラポン（福引）をしていただき景品と啓発用の資料をお渡ししました。用意した資料500部は全て配布することができました。

大勢の方が集う場所での啓発活動は難しい点もありますが、クイズを通しジェンダー視点の防災やDVについて「知らなかったよ」との声もいただき、もっと多くの方に啓発することを継続し活動していくことの大切さを実感しました。

「男女共同参画推進フォーラム（NVEC）に参加して」

内藤洋子

日本は1985年に「女性差別撤廃条約」を批准。その後、1999年に国連で採択された女性差別撤廃条約の選択議定書に、日本は批准していません。「女性差別撤廃条約実現アクション」をスタートさせ活動している講師のお話で、差別の状況と今後の方向性を学びました。現在、地方から女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める要望書を各地の女性たちがアクションを起こしており、山梨県では甲府市を含む8市3村が採択していることを知りました。まだまだ男性中心の日本の政治、司法の場での差別、教育、地方自治体のあり方など、課題が山積していると実感しました。シンポジウムでは、U-30世代の3人の女性の活動報告があり、男女が一緒に、暮らしやすい社会を模索して活動している事が発表されました。しかし、これらはほんの一部。男性がもっとこの活動に参加し、差別撤廃は自分の事として考えないと、次のステップには進めないと感じました。

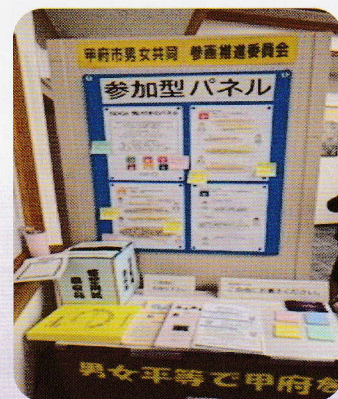
女性に対する暴力をなくす運動期間は
武田信玄公像がパープルにライトアップされています



DV・デートDV防止のパネル展準備と
パープルリボンツリー設置の様子



ぴゅあフェスティバル2024ではパネル展示と
「SDGsに敏感な視点で日常をみる」の物語を
披露しました



※5



※6



※7



※8

啓発活動) ※4
会) ※5

・DV防止啓発パネル展
(女性に対する暴力をなくす運動)

・男女共同参画推進フォーラム (NVEC) ※6

・ぴゅあフェスティバル 2024
(SDGsに敏感な視点で日常をみる) ※7

・グループ活動

・グループ活動

・甲府市男女共同参画
フォーラム2025 ※8

11月

12月

R7・1月

2月

3月